新潟リハビリテーション病院　通信

歩み

【第55号】

発行日　平成28年2月17日
発行者　新潟リハビリテーション病院
院長　山本　智章
所在地　新潟市北区木崎761番地
TEL　(025)388-2111
FAX　(025)388-3010
URL　http://www.niigata-reha.jp/

私たちは、皆様に愛され、信頼される病院を目指します。

学校運動器検診がはじまります

院長　山本　智章

新しい年が始まって1か月が過ぎましたが、いかがお過ごしでしょうか？

今年は2016年の診療報酬改定があることから、私たち医療機関にとっては変化や対応をしなければならない重要な時期がやってきます。人口の高齢化などの社会情勢と医療財源不足など医療を取り巻く環境は厳しさを増していますが、新潟リハビリテーション病院は様々な関連機関との連携を深めながら皆さんの健康を守り、地域の健康長寿へ少しでも貢献できる病院を常に優先事項として努力してまいります。本年も宜しくお願いいたします。

新潟リハビリテーション病院では夕方にスポーツリハビリ外来があり、小中高生の子供たちが多勢受診します。成長期の体には特有のスポーツ障害が発生し、中には重症化する場合があるため、早期の診断と治療、さらにその予防が重要です。一方で運動不足による小児の生活習慣病のような問題も報告されています。文部科学省はこの4月から学校の検診に運動器検診を法令改正で正式に実施することを通達しました。全国の小中高校で養護教諭と学校医、整形外科医が協力して子供たちの運動器の健康管理に取り組むための画期的なシステムと考えられています。

スポーツや運動が子供たちの心身の発達や成長に影響する重要な活動であることは間違いありません。さらにスポーツは社会の活性化にも大きな役割を果たすことを実感します。新しく始まる運動器検診を充実させて子供たちのスポーツ活動を後押しすることが私たち医療者の役目であると思います。

4年後には東京オリンピックが開催されます。新潟から世界を沸かすようなアスリートが育つことを夢見ながら、元気に頑張る子供たちを応援しましょう。

再骨折予防の取り組み①

「再骨折予防」は新潟リハビリテーションの大きな取り組みの一つです。2013年10月には「再骨折予防サポートチーム」を組織し、約20名のスタッフが連携してサポートしています。昨年9月にはオランダのロッテルダムで行われた「第4回Fragility Fracture Network(FFN)世界大会」で当院の取り組みを発表し優秀ポスター賞を受賞するなど、国際的にも大きな評価を得ています。

今回は、近年の再骨折予防活動について取り上げます。高齢者の寝たきりの原因は、骨折が第3位と高位にあり、今後も骨折予防は重要な介護予防であるとも言えます。「1度目が最後の骨折になる」を合言葉に、再骨折予防のチームで取り組みを紹介します。

1.再骨折予防手帳の発行と再骨折予防サポートチーム

2013年10月より『再骨折予防手帳』は、大腿骨近位部骨折の患者を対象に、再骨折予防を働きかける取り組みのひとつとして発行している手帳です。治療に関する記録のほか、薬や栄養面、運動面に加え、住環境の注意事項などが盛り込まれ、再骨折予防を継続して行うことの重要性もしっかりと記載されています。

入院中の指導や患者さんの転院や退院後に、医師やスタッフに患者の情報を提供する「連絡帳」としての役割が重宝され、多くの医療機関や施設に認知されるようになりました。

再骨折予防手帳に合わせて、大腿骨近位部骨折で入院した患者さんの治療継続と2次骨折予防のために、「再骨折予防サポートチーム」を組織しました。骨粗鬆症マネージャーの看護師を中心に、主治医、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、クラークなど約20名がチームを組んでいます。再骨折リスクの高い退院後3年間は、退院後1ヵ月、3ヶ月、6ヶ月、1年、2年、3年の計6回、骨粗鬆症マネージャーの看護師が電話で状態を確認しています。現在は、134名の方の再骨折予防についてフォローを行っており、電話中には受診に関する相談などにも対応しています。

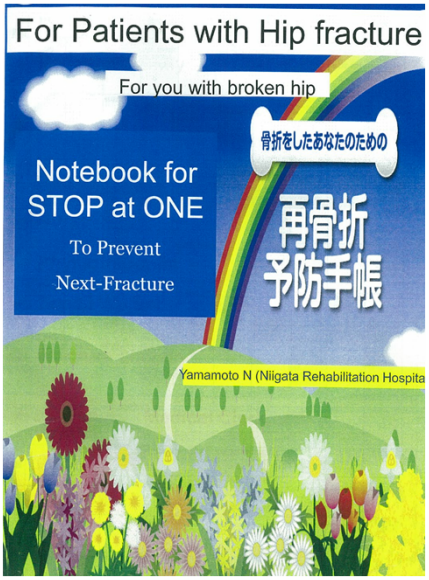
再骨折予防の取り組み②

2. 第4回Fragility Fracture Network（FFN）世界大会

第4回Fragility Fracture Network（FFN）は平成27年9月3日～5日にオランダのロッテルダムで行われました。

整形外科医が中心となって、脆弱性骨折の予防と治療の改善を目的に多職種で情報交換を行うネットワークで、多職種が関与する大腿骨近位部骨折治療成績向上の取り組み、二次骨折防止の骨折リエゾンサービス、等がシンポジウム、ワークショップで取り上げられました。

受賞したポスター
（当院外来で掲示中です）



国際版「再骨折予防手帳」

当院は山本院長が「再骨折予防事業」について発表し、”優秀ポスター賞”を受賞しました。特に本大会では、英語で表記した国際版の再骨折予防手帳についても報告し、世界各国の参加者から高い評価を得ました。

3. オステオポローシスジャパン・プラス（創刊号）

再骨折予防の取り組みを、ライフサイエンス出版の医療機関誌である「オステオポローシスジャパン・プラス創刊号2018/2/17発行）」に取り上げられることになりました。山本院長を始め、星野看護師（地域連携室）とスタッフ達による再骨折予防の取り組みが大きくクローズアップされます。「再骨折予防手帳」も取り上げられ、多職種の連携によるきめ細かいフォロー体制まで巻頭カラーで詳しく紹介されます。詳細は、2月17日に発行される同誌をご覧ください。

北区骨折予防検診

骨折は寝たきり原因の第3位、骨の健康は元気な高齢者の秘訣です。

骨粗鬆症をチェックして骨折予防の対策をしましょう。

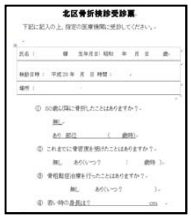
最寄りの整形外科医療機関で検査が無料で受けられます。

北区在住70歳以上の方で骨粗鬆症の検査や治療を受けていない方が対象です。

◎お申し込みの流れ

お電話下さい。来院受付も可能です。

連絡先、ご住所、生年月日等を伺います



お手紙で最寄医療機関を紹介します。

検査費は無料です。

お手紙の日時で受診して下さい。

3月31日まで

《お申し込み先》

新潟リハビリテーション病院

☎025-388-2111・午前9時～午後5時（土日祝日を除く）

直接ご来院頂いた場合、総合受付で「北区骨折予防検診のことで」とお伝えください。

インフルエンザ対策にご協力をお願いします

インフルエンザが大流行中です。2016年1月31日までの1週間の定点報告数は、新潟市、県ともに警報レベルで、特に新潟市では定点医療機関一施設あたり67.77と例年のピークレベルに達しています。今シーズンはA型が多く、B型も少数報告されています。

新潟リハビリテーション病院でも、インフルエンザ対策に下記の通りご協力頂いてます。皆様のご理解を重ねてお願い申し上げます。

《新潟リハビリテーション病院からのお願い》

ご来院の際は、総合受付にある「手指消毒剤・マスク」をご利用ください。

発熱や咳などがある場合は、お見舞いはご遠慮ください。

ご家族等にインフルエンザの方がいる場合は、お見舞いはご遠慮ください。

流行状況等によって、面会制限を行うことがあります。職員の指示に従い、感染対策にご協力をお願いします。